

【患者搬送例(精神疾患患者)】



患者情報	病名	依頼主	相談内容	搬送結果
40代女性	統合失調症	母親	脳神経外科に通院歴有り、薬を処方されていたが、皮膚科で副作用を指摘され殺されるといって服用中断。最近特に、幻聴・被害妄想がひどくなり、母親が病院に相談。弊社に依頼。子どもを蹴飛ばし、仲裁に入った母親にも髪を掴むなど暴力的な様子。	玄関先で「あなたたちには関係ない」と興奮した様子だったが、スタッフが約1時間かけて説得。母親も立ち合い説得。怒り疲れた様子もあり、診察だけならと言い最後は自ら車に乗り込む。車中では幻聴に何度も頷き、泣き出す様子も見えたが、終始暴れるなどは無く病院へ引き渡し完了。
30代女性	統合失調症	両親	家に爆弾が仕掛けられているといい数ヶ月前から家を出て漫画喫茶やビジネスホテルを泊まり歩く。家族が汚い菌を持っていて近寄れない、妹だけは接触することができる。通院の勧めは断固拒否。病院より紹介を受け弊社に依頼。	妹との接触予定である漫画喫茶で声を掛ける。最初から大きな声を出し、誰の依頼で来たのかと憤慨する本人に、同意書を見せ説得する。40分説得を続けたところで道路に向かって逃げ出したため危険回避のためスタッフが確保し車両に乗せ込む。車に乗ってからは諦めた様子で大人しくなり、病院に引き渡す。
40代男性	統合失調症	母親	数年前に入院歴有り。現在本人は都内に1人暮らし。最近になり欠勤し、母親に妙な電話をしてきたことで(電波妨害、公安に見張られるなどの妄想の話)母親が病院に相談。病院の相談員より紹介されて弊社に依頼。	本人は暴れる様子もなく、入院になるのかとすぐ帰ってこれるのかを心配する様子。スタッフの説得に、数分ほどで自ら車両に乗り込み、診察が終わるまで本人・母親と共に待機する。その日は入院に至らず、薬を処方され帰宅。
40代女性	アルコール依存症の疑い	母親	入院歴なし。子どもに暴言を吐いたことで、母親が心配し診察を勧めたところ、興奮し公道で車を乗り捨てて逃げた。自殺をほのめかすこともあり、お酒を飲んで大声を出す、暴れるなどし、子どもを心配した母親が病院に相談。病院の相談員より紹介され弊社に依頼。	自宅に迎えに行くより前に、本人が仕事に行くといって自宅を出てしまう。家族・警察と相談の上、職場付近で準備し夫が呼び出し、警察説得の上自ら乗車。車内では落ち着いた様子で、スタッフと世間話をしながら病院に到着。搬送終了。
50代男性	統合失調症	兄弟	数年間家に引きこもる生活。過去に診察歴があり、服薬をしていたが途中でやめてしまい、通院もしなくなる。食べる・寝る以外は何もせず家族とも会話がない。病院に連れて行くとしても嫌がって逃げた。近隣のトラブル等はないが、母親が他界・父親が入院をしたことで弟が世話をしきれず病院に相談。病院相談員に紹介され弊社に依頼。	家に入り、声をかけるスタッフと目を合わせることもなく、部屋に戻ろうとするが、引き止め「ご家族様からの相談を受けて来ました。一緒に病院に行きましょう」と声を掛けると、俯いたまま数回頷く。抵抗する様子はなく、弟と支度を手伝い車両に乗せ込む。車中も終始無言で、問いかけに頷く程度だったが、到着後の診察・入院までスムーズに完了。
70代男性	統合失調症	娘	「電波が入る」などの妄想有り、診察拒否。家の中で喋りながら歩き回る。前日まで群大病院に入院(2日間)していたが、退院の翌日に精神科専門病院に診察の予約。大きな声を出したり、暴れたりするが警察沙汰はこれまでなし。病院の相談員より紹介され弊社に依頼。	搬送当日、本人が前日まで入院していた前橋市内病院から夜通し動かず急遽配車変更。患者は全く聞く耳を持たず、3,40分説得するも、大声を出して拒否。病院スタッフとも話し合い、両脇を支え強制的に車両に乗せ込む(家族同意書有り)。車中では一変、暴れる様子は無く、途中涙汲むなど大人しくなり、診察・入院となる。
30代女性	統合失調症	母親	数年前から発症。診断歴有り。1日に何度も服を着替えたり、シャワーを浴びる。何にしても限度がなく、異常な行動が続く。家族に大きな声を出し、母親に手を上げた事も。アニメの世界の幻覚を見ていて、キャラクターと家族を重ねている様子。	スタッフが部屋に入ると、布団で仰向けになり横たわっていた。説得を始めると突然大きな声で「どういふつもりだ!!」と怒鳴り始める。全く会話にならず、幻覚を見て叫んでいるため、家族同意の下スタッフで抱きかかえ車両に乗せ込む。車中は大きな声を出したり、大人しくなったりを繰り返す。診察室で引渡し、そのまま入院となる。
40代男性	統合失調症	父親	統合失調症診断。入院歴有り。都内で独り暮らしをしていたが、服薬をやめたことで症状が悪化し家族に引き戻される。症状は被害妄想。ファーストフード店で毒を盛られたと言って警察沙汰になる。家族との会話で、病気のことや否定されるようなことを言われると暴言や物に当たったりする。	警察立ち合い有り。説得中は後屋外で待機してもらおう。スタッフ3名で自宅に入り、父親が本人を呼び出すが出てこない。ドア越しに話をするが、「急に来られても困る!」「うるせー!」等拒絶。時間をかけて説得したところ、弊社と搬送先の病院をインターネットで調べ始める。それでも約1時間、否が続き、「あと10分で部屋に入る」というと自ら部屋を出てきた。車中では無口で反抗することもなく、病院到着後引き渡しとなる。
50代女性	統合失調症の疑い	母親	普段から大人しいが、夜になると独り言を言って部屋を歩き回る。家族の通院の勧めに強く拒否し、些細な物音に過剰に反応し怯える。食事もとらなくなり、会話もしなくなり、日に日に痩せているが通院を拒む。	スタッフが本人と接触すると、独り言を言いながら怯えて部屋の隅に逃げようとしたが、スタッフが一緒に病院にいかうと説明すると、小声で拒否するも、家族の立会いもあり自ら乗車。車中でも暴れる様子は無く病院に引き渡し完了。
40代女性	統合失調症の疑い	母親	これまで精神科の受診歴無し。高校卒業後、都内の就職してから様子がおかしくなった。盗聴されているなど言い出し、23歳で実家に戻る。実家に戻ってから約20年引きこもり生活を送っていた。昨年までよく面倒を見てくれていた祖母が亡くなり、症状が悪化。食事をしなくなり、家で空中に向かい誰かと話していた。通院の話をする「放っておいて!!」と自室にこもる。	スタッフ3名本人の部屋に行くと、驚いた様子で「誰ですか!?何ですか!?!」と興奮していたが、落ち着いてソファに座ってもらい説得を始める。終始「嫌です!行きません!」と拒絶していたが、しばらくすると1階に降り、自ら「拉致されそうになっている」と警察に通報。事前準備で警察に報告をしていたため電話口の警察も事態を把握しており、弊社スタッフが任せられた。最後は母親の同意のもと、スタッフが両脇を抱え車両に乗り込む。車内では終始おとなしくしており、到着後は病院スタッフ付き添いの元、自ら歩いて院内に進んだ。

※ご家族様には原則として、搬送日より前に家族面談の機会を設けていただき、患者様の情報を聞き取ると共に、いくつかのご説明をさせていただきま

- ・入院又は診察の予約が確定しているか。
- ・移送日当日の警察立会いを依頼すること。
- ・ご家族様による移送に関する同意書への署名。等・・・